

病院長名	北川 喜己
所在地	〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4丁目66番地
交通案内	市バス：名古屋駅 名駅バスターミナル 4番または21番 幹名駅2 東海橋・野間駅 行き 玉船町3丁目 下車 名鉄神宮前駅 3番 幹神宮2 権野・中川車庫前 行き 昭和橋 下車 地下鉄：六番町3番出口 市バス幹神宮2・高畑4番出口 高畑18港区役所行き



□ 病院の特徴

日本海員救済会は明治13年に設立された日本で最初の公益法人です。救済という意味は「腋に手を添えて導き、たすける」という意味です。東京に本部を置き、全国で8つの病院、4つの診療所、2つの老健施設、1つの看護学校を運営しています。名古屋救済会病院はその1つの病院で、昭和23年に設立され、病床数602床、職員数1,300名医師は研修医を含めて190名です。愛知県で最初の救命救急センターを開設し、災害拠点病院、地域医療支援病院、愛知県がん拠点病院、卒後臨床研修評価機構から認証などの指定を受け、名古屋市西部の拠点病院として、救急医療と高度先進医療を行っています。

□ 研修プログラムの特徴

研修プログラム名

名古屋救済会病院内科専門研修プログラム

【研修目標】

愛知県の医療事情や地域事情を理解し、社会に貢献できる内科専門医の育成を行います。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

循環器、呼吸器、消化器、神経、腎臓、血液、内分泌・糖尿病の各内科を2か月研修します。外来実習も併せて行い、研修に必要な内科疾患を行います。2年目はサブスペシャリティ研修を行います。3年目は異動を伴う研修を12ヶ月行います。



▲気管支ファイバー施行中

▼カンファレンス現場



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、地域医療機能推進機構中京病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、大同病院、公立西知多総合病院、刈谷豊田総合病院、半田市立半田病院、常滑市民病院、名古屋共立病院、聖霊病院、南生協病院、かいせい病院、名古屋西病院

□ メッセージ

指導医 (副院長 呼吸器内科部長 島 浩一郎)

名古屋救済会病院は救命救急センターを持つ急性期病院で三次救急に対応した高度医療を持っております。内科も各サブスペシャリティ学会の教育病院に指定されており、豊富な症例を指導医の下に研修することが可能です。各内科での連携もしっかりとおり、合併症や併存疾患のある高齢者を含めた患者さんの診療も円滑に対応可能です。外科、心臓血管外科、脳神経外科など内科以外の診療科も全て充実しており、他科へのコンサルトがしやすい状況です。内科各科、内赤全体での検討会はもちろん各臓器において、内科、外科、病理、放射線、コ・メディカル等を含めた検討会も実施されており、幅広く研修することが可能です。また、連携施設においては、亜急性期から慢性期にかけての研修が可能となっており、症例の全人的医療を経験することができます。これらを通して、医療者として個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の習得をもって目標へ到達とします。



□ 募集要項

・採用予定人数	9人
・給与/月額	600,000円~680,000円/月額
・当直回数/月	4回~5回/月
・当直料/回	28,000円~30,000円/回
・その他	
・応募連絡先	担当者 後期研修管理室 光田 電話番号 (052) 652-7711 Eメール Kouki-kenshu@ekisai.or.jp